

池野屋

御用御藥調合所

和漢第一之腎藥

御用御藥調合所  
うちの老翁を魚肝油  
夏ハ純ガんに死に  
神の業の色を



鎮火

益水

參龍眼肉圓

免

大坂北久太良町壹丁目

西垣文庫

本家

法眼柴田徳翁謹製

西垣文庫

文庫10

6510



腎を益す  
益濃もほしく  
のぼせさげ  
物おがよ  
龍眼子使

一此靈劑の君薬、用ゆる龍眼肉とら、薬品、室に補薬の最上なり  
て腎精と増はして是、勝るの、能、腎とよくさる、又、腕六  
腑、成る、存、血、分、生、魂、氣、とよくし、肝、氣、とゆるめる、大、妙、業  
あり、是、小、人、参、成、を、合、さ、る、た、元、氣、と、補、ひ、氣、と、あ、ら、じ、心、力、を  
は、よくし、脾、胃、と、健、ま、ら、し、此、靈、薬、高、呂、臣、業、と、合、秘、業、其、製  
法、成、り、て、稠、煉、した、奇、方、さ、る、世、同、多、く、補、薬、あ、ら、は、格  
別、高、呂、の、業、種、か、り、其、効、あ、る、と、用、ひ、て、あ、る、べ、し

一夫腎の臓、身命の源なり、此臓虚されば、短命にして、子あり、萬事小  
神、も、乃、届、び、虚、火、亢、ま、て、逆、上、は、よ、く、身、體、潤、す、物、每、く、退、屈、し  
健、忘、短、慮、に、て、物、と、た、氣、を、ち、物、は、膝、し、魂、氣、つ、ら、び、加、之、種、の  
病、症、さ、ら、し、ひ、起、る、由、小、養、生、の、先、務、と、す、腎、水、と、益、は、より  
外、あ、り、是、と、り、て、此、靈、方、專、一、小、腎、精、と、増、は、妙、劑、な、る、ば、此  
藥、成、用、ひ、て、養、生、す、る、と、た、い、五、臟、六、腑、と、潤、ひ、身、體、堅、固、と  
して、諸、病、發、さ、る、と、か、り、實、は、和、漢、第、一、腎、薬、の、靈、劑、也  
**加増腎精** 此藥第一腎の臟、元陽と補ひ、真陰の水と益  
魂、氣、と、ほ、く、し、大、は、血、分、と、潤、和、脾、胃、と、潤、身、體、と、壯、健、小、

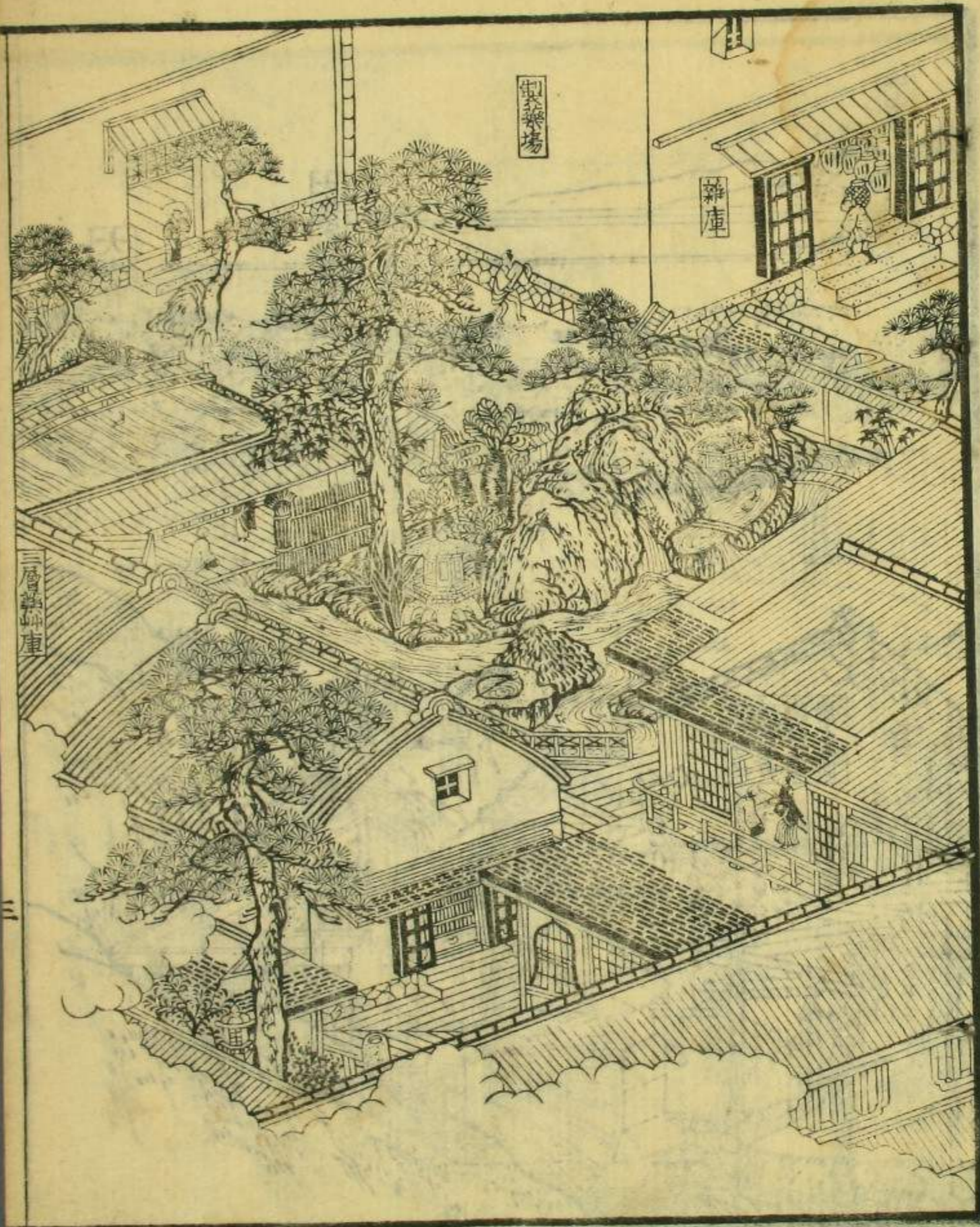
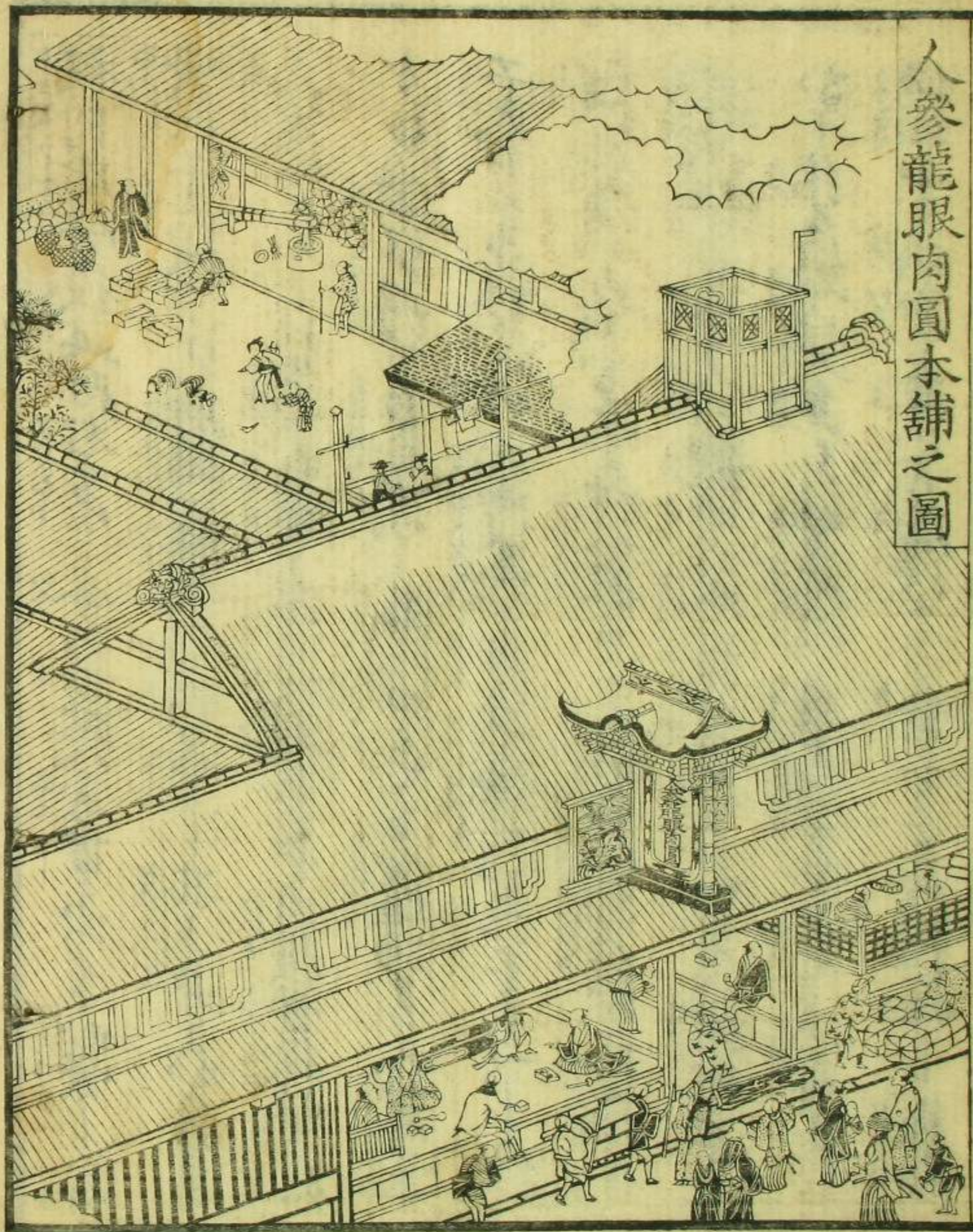
血を順和する由腹内和と心中滞なく飲食よく進きて  
 大便の通下は妨るた由おつづき無病延壽の基にして是誠  
 腎精を補ふ其功の著ること他薬より勝る云々妙無雙の仙方也  
 用ひて其むよむべし  
 色欲のまじり又精をれせしめて保るるは腎氣の補と得し能く成りなり此  
 薬を用ゆるとたハ骨の痿潤の後中あまうふしと潤ひ精の補あつりことあること其妙也  
**理脾虚** 常に食はるる腹をり食物を味るる顔色次第に衰へ我を  
 小腹中も引込せしむるは思ひて是皆脾胃虚の症なり小兒の脾胃虚は此  
 靈薬とて利用せられ目赤小其功おむる試よ無病の正方也  
 とせざるも所後用を成したる腹中此薬をまりや亦功後疑はし

**補内虚勞役**

此症は多し今の世は人々事おつる心勞一思  
 案に工夫せし肝膽と碎さる魂と奪し其上身よかるる  
 大事おるるとたハ大不尋常して諸虚瘵をて内損勞役は大病  
 とある常に心で養生すべし若人少くてもん遣はるる又思案  
 工夫するゆへはとたハ此清茶を用ひて神氣をたたくべし神  
 氣を養ふととも又神心疲るるとは其妙効用ひて知るべし  
**鎮火動** ことて人の體中ハ水火の二ツ等分あまは病おると  
 あり然るに今世人多くハ腎水減て虛火亢るる由常に逆上つる  
 仮初中も熱出て肩こり胸詰りて食をたまは頭痛一魚心

池の也

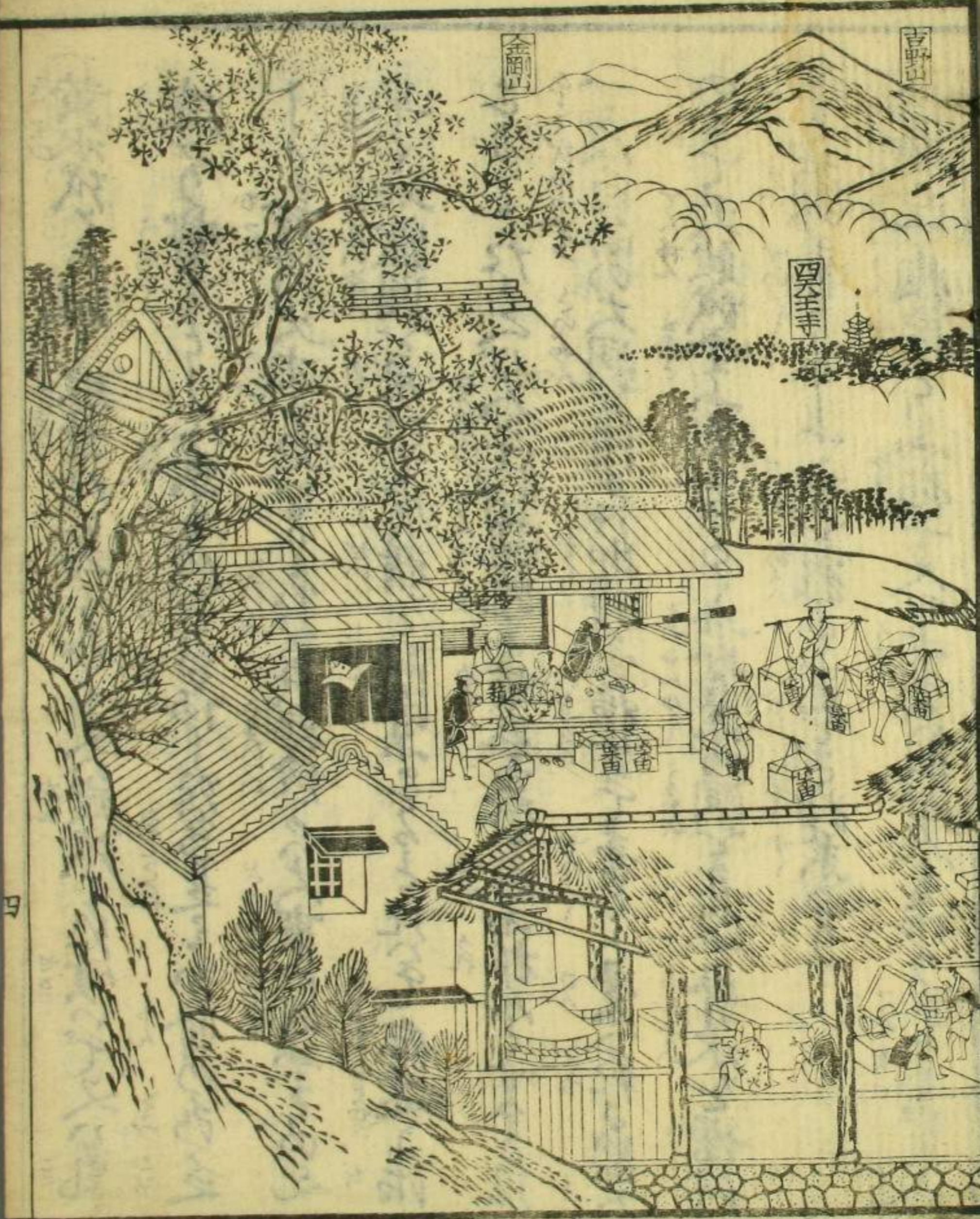
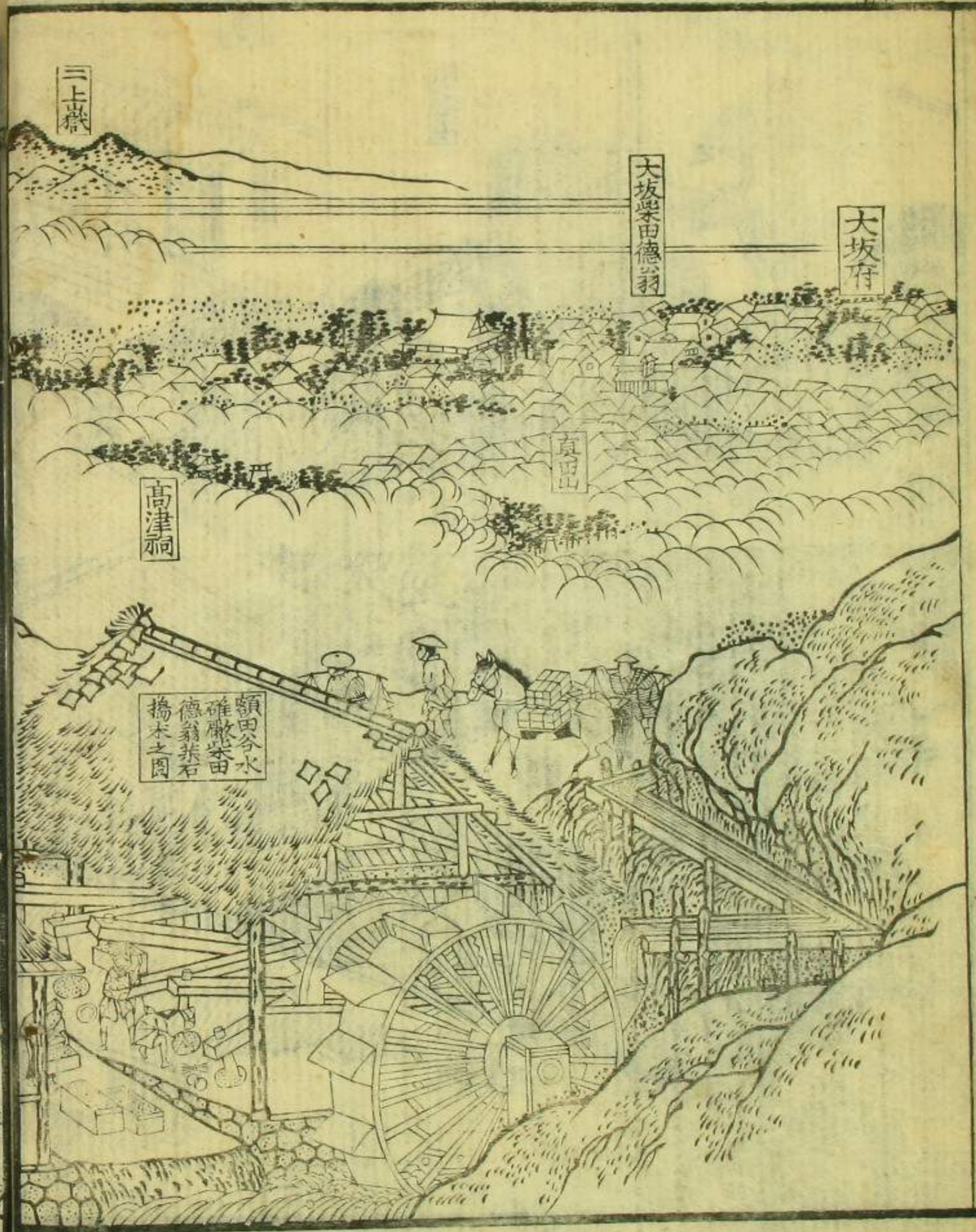
人參龍眼肉圓本舖之圖



御茶場

雜庫

三層庫



黄水城を死時と眩暈たぢぢみー又瘰癧を死候にて又い  
 寒の瘳くとして集まげを分へた是も腎のあり  
 一々瘳の火尤るもなり是等此病終る大事に及ぶもの  
 早く此靈圓を用ひて腎精を潤澤せると死を疾速に治  
 するごとたといふ大旱に田地乾く苗あるびて既拵んとするに  
 一夜白雨の大潤と得きハ即時小種生て青くと葉へ花を結実  
 のりて天然成金ふするごとく此腎葉の潤どりて腎水を増は  
 こと苗の青くとして形を成すと如き妙薬あり

**治癩症** 癩症といふ病十人の中よ六七人もあり是亦腎水

乏くして心膈此火を押し制するに能はば火已が停小元を復  
 初も怒り腹を手足筋をうつり種々を瘳つた物も好魚  
 聊の事でも涙ぐみ其外もいぬ瘳進むに如きて後ハ發狂  
 とあり又ハ寝ざるとあり生涯枕杖するはことなうと云ふ  
 ありと云ふ一依て癩症の死ある人早く此薬を用ひて養生すべ  
**調養病後** 傷寒又ハ痢病又ハ産後其外何の病でも久く  
 煩ひたよ元氣を養肥之物を死人ハ此龍眼肉園と二三劑用ゆまハ  
 其身津液を生ト手足力つと云ふ妙あり

○腎の候乃熱と冷と有淋病等不用ひて奇妙あり ○画乃無色

青ざめて瘦瘠(やせ)眼(くま)中(ちゆう)此(こ)する人も悪(あく)た症(ぢゆう)と治(ぢゆう)る○産(さん)後(ご)血(けつ)無(む)病(びやう)  
 大便(だいべん)りの體(たい)疲(へい)肉(にく)熱(ねつ)強(ぢゆう)く産(さん)瘠(じやく)といふ症(ぢゆう)○常(じょう)に大(だい)便(べん)をまうりたう  
 腰(こし)むも力(ちから)うるた症(ぢゆう)○常(じょう)に積(つ)む心(こゝろ)下に瘡(かさ)或(ある)は腹(はら)内(うち)に塊(かたまり)ありて  
 痛(いた)く治(ぢゆう)せざる症(ぢゆう)○常(じょう)に人(ひと)と活(かつ)脱(だつ)するふ久(く)出(で)て不(ふ)心(しん)涙(なみだ)して腹(はら)の  
 下(した)冷(れい)汗(あせ)流(なが)る勢(せい)力(ちから)を易(やす)た症(ぢゆう)○積(つ)む俄(いつ)に胸(むね)うらうらみ息(いき)引(ひ)けり  
 心(こゝろ)ひきき世(よ)業(ごう)と用(もち)ひまに腹(はら)中(ちゆう)鳴(な)りて治(ぢゆう)すこと神(かみ)の如(ごと)し○瘧(たん)瘧(ぢやく)  
 痛(いた)するり次(つぎ)牙(が)小(せう)面(めん)の色(いろ)青(あお)くも症(ぢゆう)も多(おほ)き世(よ)業(ごう)と用(もち)ひ○世(よ)業(ごう)  
 以(も)服用(ぶつりよう)の後(のち)の毒(どく)を掃(はら)ひて治(ぢゆう)すは是(こゝろ)廣東(くわんどう)人(じん)參(さん)茸(じゆ)力(ちから)の積(つ)むは驗(けん)也(なり)  
 必(かならず)して氣(き)を掃(はら)ひて治(ぢゆう)すは是(こゝろ)精(せい)用(よう)て治(ぢゆう)すは○是(こゝろ)葉(えつ)上(じやう)世(よ)症(ぢゆう)人(じん)次(つぎ)

牙(が)に瘧(たん)瘧(ぢやく)と云(い)ふ熱(ねつ)身(み)常(じょう)に冷(れい)内(うち)熱(ねつ)不(ふ)絶(たつ)火(か)の元(もと)止(とど)まらざるは依(よ)る人(じん)參(さん)  
 之(これ)を温(ぬ)む龍(りゆう)眼(がん)と云(い)ふ火(か)と鉄(てつ)骨(こつ)と酒(しゆ)の良(りやう)劑(ざい)とを以(も)て治(ぢゆう)す○全(ぜん)身(しん)世(よ)業(ごう)  
 腎(じん)精(せい)と益(えき)を以(も)て治(ぢゆう)すは是(こゝろ)虚(きよ)損(そん)は症(ぢゆう)と下(した)魂(たま)の症(ぢゆう)と逆(さか)上(じやう)症(ぢゆう)と其(その)外(ほか)内(うち)を  
 より治(ぢゆう)する病(びやう)は皆(みな)用(もち)ひて効(くわい)能(にやう)速(そく)するること神(かみ)の如(ごと)し○人(じん)參(さん)龍(りゆう)眼(がん)肉(にく)の  
 後(のち)今(いま)世(よ)同(どう)指(さし)類(るい)業(ごう)多(おほ)く是(こゝろ)地(ぢ)美(び)の如(ごと)し地(ぢ)美(び)と云(い)ふは洋(やう)下(した)松(しょう)の葉(えつ)葉(えつ)同(どう)多(おほ)  
 一(ひと)物(もの)何(なに)方(か)も地(ぢ)美(び)を食(た)ふの如(ごと)し是(こゝろ)不(ふ)知(ち)して大(だい)根(こん)冷(れい)合(が)合(が)世(よ)業(ごう)速(そく)感(かん)ははる  
 之(これ)を根(こん)の補(ほ)業(ごう)服用(ぶつりよう)の正(ただ)方(かた)を以(も)て治(ぢゆう)すは是(こゝろ)世(よ)方(かた)の腎(じん)業(ごう)の後(のち)人(じん)參(さん)龍(りゆう)眼(がん)  
 其(その)外(ほか)高(たか)真(ま)世(よ)業(ごう)種(しゆ)と潤(うる)合(が)仕(し)製(せい)業(ごう)と云(い)ふは葉(えつ)上(じやう)高(たか)功(こう)能(にやう)の次(つぎ)牙(が)小(せう)面(めん)  
 用(もち)の上(うへ)相(あ)合(が)つて世(よ)同(どう)の類(るい)業(ごう)と云(い)ふは龍(りゆう)眼(がん)肉(にく)固(こ)の如(ごと)し醫(い)師(し)為(な)る○用(もち)

此藥ハ功効疑ハ世業功効の次第ハ勘考ニ成テ下謹用可キ下

●服法 茶貞式各分三度夜を一度湯でも茶でも服用可キ

御藥價 壹劑 八匁六分 半劑 四匁三分 小半劑 二匁二分五厘

謹曰此人參龍眼肉圓者御免製藥所被爲 仰

附菊御紋御差加被成下如斯蒙 尊命候御藥

而高貴様迄御服用被遊候故謹改不淨所調合

也誠此藥予有志願一世用於數萬人之煩慮損

輩欲令修養而已 傳州所

此藥...

Handwritten notes on the left margin, including characters like '水' and '水'.